

シミのレーザー治療を受けられた患者様へ

内山九段クリニック 内山清貴

レーザー治療のしくみ

レーザーは光ですが、これが皮膚に吸収され熱となり、熱がメラニン色素を蒸散し、メラニン細胞を破壊することで、シミが消え（あるいは薄くなる）ます。

成績

シミの改善は個人差があり、全ての方に一樣の結果が得られる訳ではありません。また同一人物でも、部位やシミの性状によって改善度は異なりますので、初回は、効き具合を確かめるため少数のシミ治療にとどめる事をお勧めします。多くのシミは 1-3 回で改善しますが、消せなかった時はレチノイン酸を併用する事によって、ほぼ目的を達せられます。

経過

発赤 → かさぶた → 発赤 → 軽減

ロコイド
月 日 ~ 月 日
朝・晩

ハイドロキノン 紫外線カット
月 日 ~ 赤みが取れるまで
朝・晩

洗顔 → 基礎化粧 → ロコイド or ハイドロキノン → ファンデーション

- ① レーザーを当てると、熱が加わりますので同部とその周囲（5mm くらい）が赤く（発赤）なります。これは厳密に言えば、非常にコントロールされた火傷です。ヒリヒリ感も伴います。最初の 3-4 日は弱いステロイド軟膏を塗布します。
- ② 翌日には薄い痂皮（かさぶた）出来ますが、無理に剥がしてはいけません。自然に取れるまで待ちましょう。一般に痂皮が剥がれるのは、4-10 日後です。
- ③ ステロイドの後は、ハイドロキノンというクリームを塗ります。ハイドロキノンは、マイルドなシミ治療剤です。レーザー治療後の再色素沈着予防や、薄く残ったシミを改善させる目的で用います。ハイドロキノンを塗る期間は 1-2 ヶ月です。
- ④ 痂皮が剥がれたら、必ず紫外線カットを行って下さい。

注意点

(レーザー後、一時期濃く見える事がありますが、心配ありません。)

① 反応性色素増強

レーザーを当てた後、時に、一時期シミが濃くなる事があります。これを反応性色素増強といいます。あくまで一時的ですので心配は要りませんが、薄くなるまでの時間が通常より、1-2ヶ月余計にかかります。

② シミと赤みの混在

一度の照射でシミが全て消えれば良いのですが、そうでない場合、シミの茶色と発赤の赤みが重なって、かえって濃く見える（あるいはレーザーが効いていないと感じる）事があります。しかし発赤が治まれば、心配なくなります。